

(資料1)

平成17年3月7日
健康局疾病対策課

リウマチ・アレルギー対策委員会等の設置について(案)

1 設置目的

リウマチ、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、花粉症等の免疫アレルギー疾患は、長期にわたり著しく生活に支障をきたすものもある等、国民の健康上重要な問題となっている。

このため、今後のリウマチ及びアレルギー対策を総合的・体系的に実施するべく、厚生科学審議会疾病対策部会の専門委員会として、リウマチ・アレルギー対策委員会を設置し、リウマチ及びアレルギー対策の指針の策定等に関する検討を行うものとする。

また、これらの対策について、より専門的な検討を行うリウマチ対策検討会及びアレルギー対策検討会を、厚生労働省健康局長の私的検討会として、それぞれ設置するものとする。

2 検討課題(案)

- (1) リウマチ・アレルギー対策委員会
 - (ア) リウマチ及びアレルギー対策指針策定
 - (イ) その他

- (2) リウマチ対策検討会
 - (ア) リウマチ対策の基本的方向性
 - (イ) 研究の推進
 - (ウ) 医薬品の開発促進等
 - (エ) 医療提供体制の整備
 - (オ) 患者QOLの向上と自立等
 - (カ) 情報提供・相談体制
 - (キ) 関係機関との連携
 - (ク) その他

- (3) アレルギー対策検討会
 - (ア) アレルギー対策の基本的方向性
 - (イ) 研究の推進
 - (ウ) 医薬品の開発促進等
 - (エ) 医療提供体制の整備
 - (オ) 患者QOLの向上等

- (カ) 情報提供・相談体制
- (キ) 患者を取り巻く環境の改善
- (ク) 関係機関との連携
- (ケ) その他

3 構成及び事務局等

- (1) リウマチ・アレルギー対策委員会
委員会に参集を求める有識者は、リウマチ・アレルギー対策に精通した学識を有する者とし、15名以内で構成するものとする。会議の事務は、健康局疾病対策課が行う。
- (2) 各検討会
各検討会については、各検討内容に精通した専門家に委嘱するものとし、検討会の人数は15名以内とする。

4 検討スケジュール

- (1) リウマチ・アレルギー対策委員会
第1回(平成17年3月)
今後のスケジュール確認、リウマチ・アレルギー対策の現状と問題点を提示
第2～3回(平成17年6月)
リウマチ・アレルギー対策指針策定・とりまとめ
- (2) リウマチ対策検討会
第1回(平成17年3月)
スケジュール確認 リウマチ対策の現状及び問題点 論点メモ(案)
第2回(平成17年4月) リウマチの研究及び専門医療の提供等について
第3回(平成17年4月) リウマチの情報提供体制等について
第4回(平成17年5月) リウマチ対策指針(案)及び報告書(案)作成
第5回(平成17年6月) リウマチ対策指針(案)及び報告書のとりまとめ
- (3) アレルギー対策検討会
第1回(平成17年3月)
スケジュール確認 アレルギー疾患対策の現状及び問題点 論点メモ(案)
第2回(平成17年4月) アレルギーの研究及び専門医療の提供等について
第3回(平成17年4月) アレルギーの情報提供体制等について
第4回(平成17年5月) アレルギー対策指針(案)及び報告書(案)作成
第5回(平成17年6月) アレルギー対策指針(案)及び報告書のとりまとめ

(資料2)

平成15年保健福祉動向調査 アレルギー様症状(厚生労働省大臣官房統計情報部調査による)

(単位:%)

平成15年

性 年齢	総数	3症状のいずれかの症状あり			3症状の いずれの 症状もな し	皮膚のアレルギー様症状あり			呼吸器のアレルギー様症状あり			目鼻のアレルギー様症状あり		
		総数	医療機関に入通院			総数	医療機関に入通院		総数	医療機関に入通院		総数	医療機関に入通院	
			総数	1つでも アレルギー 診断 あり			総数	アレルギー 診断 あり		総数	アレルギー 診断 あり		総数	アレルギー 診断 あり
総数	100.0	35.9	20.9	14.7	59.1	16.4	9.5	5.7	7.5	5.4	2.8	22.6	10.9	9.4
0～4歳	100.0	37.3	33.3	19.7	58.4	26.6	22.2	12.9	13.6	12.7	6.7	9.4	8.5	6.0
5～9	100.0	42.7	34.2	27.6	53.6	25.1	18.4	14.4	12.7	11.7	8.6	22.4	17.5	15.1
10～14	100.0	42.7	28.6	25.8	52.2	17.9	11.4	9.7	9.0	7.9	6.0	30.9	19.2	18.3
15～19	100.0	37.9	20.5	17.8	57.3	14.9	8.8	6.8	5.4	3.5	2.6	28.9	12.7	11.9
20～24	100.0	36.4	18.0	14.3	59.5	16.7	10.1	7.3	4.7	2.5	1.7	24.7	8.7	8.0
25～34	100.0	39.2	19.7	15.1	56.4	16.8	8.4	5.4	6.7	4.6	2.6	27.7	10.9	9.8
35～44	100.0	39.9	19.5	15.9	55.7	16.1	7.2	4.7	6.5	3.6	2.1	29.9	12.7	12.0
45～54	100.0	34.6	17.8	13.3	60.9	14.3	7.1	3.8	5.0	3.0	1.6	24.5	11.0	9.9
55～64	100.0	31.6	17.1	11.4	62.1	12.9	6.6	3.5	6.4	3.8	1.8	20.1	10.0	8.2
65～74	100.0	31.2	19.5	9.8	62.5	15.4	9.1	4.1	8.8	6.3	2.1	15.0	7.7	5.4
75歳以上 (再掲)	100.0	28.4	20.2	6.6	65.0	15.3	10.3	3.4	10.9	8.4	2.0	9.7	5.7	2.5
65歳以上	100.0	30.0	19.8	8.5	63.6	15.4	9.6	3.8	9.7	7.2	2.1	12.8	6.9	4.2
男	100.0	34.3	19.2	13.2	60.7	15.1	8.8	5.2	7.7	5.4	2.8	20.9	9.4	8.0
0～4歳	100.0	39.5	36.3	23.4	56.0	27.6	24.2	15.6	15.7	14.7	8.3	10.9	10.1	7.5
5～9	100.0	45.8	37.7	30.8	51.6	26.0	19.8	15.5	14.4	13.3	10.1	24.9	19.7	17.2
10～14	100.0	43.8	29.6	27.0	51.9	16.2	10.4	8.8	11.2	9.7	7.6	32.5	20.4	19.8
15～19	100.0	39.0	20.3	18.2	56.5	12.1	7.2	5.8	6.4	4.5	3.5	31.0	12.8	12.1
20～24	100.0	32.4	14.3	11.7	62.6	12.5	7.4	5.3	4.8	2.6	1.9	22.2	7.3	7.0
25～34	100.0	34.3	15.1	11.0	60.8	12.8	6.4	4.2	6.0	3.5	1.9	24.4	7.6	6.8
35～44	100.0	35.2	15.6	12.1	60.2	13.4	5.3	3.2	5.9	3.2	1.8	25.4	9.6	8.9
45～54	100.0	29.4	14.1	9.7	66.0	12.0	6.2	2.9	4.5	2.5	1.1	19.5	7.7	6.7
55～64	100.0	29.3	14.1	8.9	64.6	12.0	5.9	3.0	6.0	3.1	1.3	17.6	7.5	6.2
65～74	100.0	32.7	19.7	8.7	60.6	16.7	9.6	3.6	9.4	6.5	1.8	14.7	6.7	4.4
75歳以上 (再掲)	100.0	32.8	22.7	6.6	61.0	18.8	12.3	3.8	12.0	8.9	1.6	10.2	5.7	2.1
65歳以上	100.0	32.8	20.8	7.9	60.8	17.5	10.6	3.6	10.3	7.4	1.7	13.0	6.3	3.6
女	100.0	37.4	22.5	16.2	57.5	17.7	10.1	6.2	7.4	5.4	2.8	24.1	12.3	10.7
0～4歳	100.0	34.6	29.7	15.4	61.3	25.3	19.8	9.9	11.2	10.5	4.9	7.7	6.8	4.4
5～9	100.0	39.7	30.7	24.3	55.6	24.1	17.0	13.2	10.9	10.1	7.1	19.9	15.4	13.0
10～14	100.0	41.6	27.5	24.5	52.6	19.6	12.5	10.6	6.8	6.1	4.5	29.2	18.1	16.8
15～19	100.0	36.9	20.7	17.3	58.1	17.4	10.2	7.6	4.6	2.6	1.8	26.9	12.6	11.7
20～24	100.0	40.2	21.6	16.9	56.5	20.7	12.7	9.2	4.6	2.5	1.5	27.1	10.1	8.9
25～34	100.0	43.9	24.2	19.1	52.2	20.7	10.3	6.4	7.4	5.6	3.3	30.8	14.0	12.8
35～44	100.0	44.6	23.5	19.7	51.2	18.9	9.2	6.2	7.0	4.0	2.5	34.3	15.8	15.0
45～54	100.0	39.7	21.4	16.8	55.9	16.5	7.9	4.7	5.5	3.5	2.0	29.3	14.3	13.1
55～64	100.0	33.8	19.9	13.7	59.6	13.9	7.2	3.9	6.8	4.5	2.3	22.4	12.3	10.1
65～74	100.0	29.8	19.4	10.9	64.2	14.1	8.7	4.7	8.2	6.1	2.4	15.2	8.7	6.2
75歳以上 (再掲)	100.0	25.6	18.6	6.6	67.6	13.1	9.0	3.1	10.3	8.1	2.3	9.3	5.7	2.8
65歳以上	100.0	27.9	19.0	8.9	65.7	13.7	8.8	3.9	9.2	7.0	2.4	12.6	7.3	4.7

注: 総数には、不詳を含む。

表 性・年齢階級別にみたアレルギー様症状の有無とその診断があった者の割合(複数回答)

この1年間に、皮膚、呼吸器及び目鼻の各症状(以下「3症状」という。)のいずれかのアレルギー様症状があった者は全体の35.9%であり、これを性別にみると、男34.3%、女37.4%となっており、女で割合が多くなっている。

また、年齢階級別にみると、男では「5～9歳」が45.8%で最も多く、女では「35～44歳」が44.6%で最も多くなっている。

リウマチ・アレルギー対策概念図

研究の推進

免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業

- 厚生労働科学研究費補助金による、リウマチ分野（平成2年度より）、アレルギー分野（平成4年度より）に関する総合研究
- 病因・病態の解明、治療法の開発等の研究を推進

独立行政法人国立病院機構相模原病院臨床研究センターの開設

- 免疫異常政策医療ネットワークの高度専門施設として平成12年10月に開設
- 理化学研究所免疫・アレルギー科学総合研究センター（文部科学省）と連携し、共同研究を推進（平成16年度より）

研究成果に基づく
最新の医療技術・情報の普及

相談体制の整備

リウマチ・アレルギー相談員養成研修会

- リウマチ、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、花粉症（以上が四疾患）、および食物アレルギーに関する研修会
- 都道府県等の保健師等従事者を対象に、平成13年度から毎年実施し、地域相談体制の充実を図る

診療ガイドラインの作成

- 医療関係者に対して標準的な診断・治療等の普及を図る
『関節リウマチ治療ガイドライン』 『アトピー性皮膚炎治療ガイドライン』
『喘息予防・管理ガイドライン』 『アレルギー性鼻炎診療ガイドライン』 等

啓発・普及

各種広報活動

- 厚生労働科学研究推進事業により、医療関係者向け講演会や市民講座の開催、一般向けパンフレットの作成等
- 研究班による一般向けパンフレットの作成
- インターネットを活用した情報提供

平成17年度 リウマチ・アレルギー対策予算(案)について

リウマチ・アレルギー対策の推進 1,113百万円 → 1,121百万円
(+8)

1 免疫アレルギー疾患に関する研究等の推進

(1) 目的

免疫アレルギー疾患は、国民の30%が罹患していると言われており、さらに増加傾向にある。また、その重症化も進み、日常生活に著しく支障をきたすため、国民の健康上重大な問題となっている。

これらの疾患について、発症原因と病態との関係を明らかにし、予防、診断及び治療法に関する新規技術を開発するとともに、既存の治療法の再評価を行うことにより、国民に対してより適切な医療の提供を目指した実践的な研究を推進する。

(2) 事業内容

免疫アレルギー疾患予防・治療研究(厚生労働科学研究費)

1,105百万円 → 1,112百万円

花粉症、リウマチ、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギーなど免疫アレルギー疾患の病因・病態の解明、治療法の開発等の研究を引き続き推進する。

(参考)

国立相模原病院における免疫アレルギー疾患に関する臨床研究センター事業及び国立病院における免疫異常ネットワーク支援システム事業については、国立病院が独立行政法人化されたものの、平成17年度においても引き続き当該事業を推進することとしている。

2 免疫アレルギー疾患に関する正しい情報の普及

(1) 目的

免疫アレルギー疾患に関しては、病因、病態がいまだ不明で根治療法がない等の状況下において、民間療法も含め膨大な情報が氾濫しており、正しい情報の取捨選択が困難な状況となっていることから、正しい情報の普及啓発を図る。

(2) 事業内容

地域における相談体制の整備を図るため、地方公共団体の保健師等に対し免疫アレルギー疾患(花粉症、リウマチ、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー等)に関する最新の知識等を習得させ、相談員を養成することとしている。

リウマチ・アレルギー対策検討会経費	1百万円 →	1百万円
リウマチ・アレルギー相談員養成研修経費	7百万円 →	8百万円

※ リウマチ及びアレルギー対策を総合的・体系的に実施するため、リウマチ及びアレルギー対策の指針を策定することとしており、本年度より厚生科学審議会におけるリウマチ・アレルギー対策委員会等において議論することとしている。

(資料5)

リウマチ・アレルギー分野の研究費について

(平成9年度以降)

年 度	研究事業名	予算額
平成 9 年度		2.75億円
平成10年度		3.55億円
平成11年度	厚生科学研究費補助金 感覚器障害及び免疫・アレルギー等研究事業	4.46億円
平成12年度		6.47億円
平成13年度		7.46億円
平成14年度		13.09億円
平成15年度	厚生労働科学研究費補助金 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業	11.37億円
平成16年度		11.13億円
平成17年度		(予算案) 11.21億円

- リウマチ疾患については平成2年度より「厚生省リウマチ調査研究事業」として、アレルギー疾患については平成4年度より「厚生省アレルギー総合研究事業」として、それぞれ総合的な研究が開始された。
- 平成9年度より、厚生労働科学研究の一研究事業として位置付けられ、以後、より一層の研究体制の整備が図られている。

平成16年度免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業 採択課題一覧

開始年度	主任研究者	所属施設	職名	研究課題名
H16	江口 勝美	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	教授	関節リウマチの早期診断法の確立及び臨床経過の予測に関する研究
H16	白川 太郎	京都大学大学院医学研究科	教授	地域集団でのコホート研究による便中細菌診断妥当性の研究
H16	竹内 勤	埼玉医科大学総合医療センター	教授	リウマチ・アレルギー疾患の治療反応性予測因子の確立及びテラーメイド治療法の確立に関する研究
H16	近藤 直実	岐阜大学大学院医学研究科	教授	アレルギー疾患の治療反応性予測因子の確立及びテラーメイド治療法の確立に関する研究
H16	宮坂 信之	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科	教授	関節リウマチ治療における新規生物製剤の治療方針の作成及びその検証に関する研究
H16	三浪 明男	北海道大学大学院医学研究科	教授	関節リウマチ上肢人工関節開発に関する研究
H16	一ノ瀬 正和	和歌山県立医科大学医学部	教授	気道過敏性の簡便な診断法開発とその応用による喘息管理向上に関する研究
H16	岩本 逸夫	千葉大学大学院医学研究院	助教授	上気道及び下気道アレルギーの臓器過敏性における臓器特異的免疫基盤の解明と早期治療法の開発
H16	岡本 美孝	千葉大学大学院医学研究院	教授	小児アレルギー性鼻炎の成人への移行を阻止するための治療法の確立に関する研究
H16	赤澤 晃	国立成育医療センター	医長	気管支喘息の有病率・罹患率およびQOLに関する全年齢階級別全国調査に関する研究
H15	福田 健	獨協医科大学内科学	教授	気管支喘息の慢性化・難治化の予防を目指す、早期介入療法のための早期診断法の確立に関する研究
H15	森川 昭廣	群馬大学大学院医学系研究科	教授	免疫アレルギー疾患に係わる胎内・胎外因子の同定に関する研究
H15	海老澤 元宏	独立行政法人国立病院機構相模原病院臨床研究センター	部長	食物等によるアナフィラキシー反応の原因物質(アレルゲン)の確定、予防・予知法の確立に関する研究
H15	河野 陽一	千葉大学大学院医学研究院	教授	アトピー性皮膚炎等の有症率調査法の確立および有症率(発症率)低下・症状悪化防止対策における生活環境整備に関する研究
H15	安枝 浩	独立行政法人国立病院機構相模原病院臨床研究センター	室長	スギ花粉・ダニ由来のアレルゲンの分析と診断・治療への応用に関する研究
H15	西岡 清	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科	教授	重症アトピー性皮膚炎の難治化機序を踏えた治療法の確立に関する研究
H15	森 晶夫	独立行政法人国立病院機構相模原病院臨床研究センター	部長	気管支喘息の難治化機序の解明と予防・治療法の開発に関する研究
H15	秋山 一男	独立行政法人国立病院機構相模原病院臨床研究センター	センター長	免疫アレルギー疾患予防・治療研究に係る企画及び評価に関する研究
H14	大久保 公裕	日本医科大学耳鼻咽喉科	助教授	花粉症のQOLからみた各種治療法評価と新しい治療法開発の基礎的研究
H14	小川 秀興	順天堂大学医学部	学長	皮膚・気道・鼻粘膜局所におけるresidential cellによる生体防御機構のアレルギー疾患における役割の解析
H14	清野 宏	東京大学医科学研究所	教授	アレルギーにおける粘膜免疫を基点とした全身・皮膚免疫クロスネットワークシステムの解明と予防への応用に向けた基礎研究
H14	玉置 邦彦	東京大学大学院医学研究科	教授	皮膚アレルギー炎症発症と治療におけるサイトカイン・ケモカインとその受容体に関する研究
H14	玉井 克人	大阪大学大学院医学系研究科	助教授	重症アトピー性皮膚炎に対する核酸医薬を用いた新規治療法の開発
H14	古江 増隆	九州大学大学院医学研究院	教授	アトピー性皮膚炎の既存治療法のEBMIによる評価と有用な治療法の普及
H14	出原 賢治	佐賀大学医学部	教授	アレルギー疾患の遺伝要因と環境要因の相互作用に関する研究
H14	大田 健	帝京大学医学部	教授	アレルギー疾患の発症及び悪化に影響する因子の解析
H14	越智 隆弘	独立行政法人国立病院機構相模原病院	院長	関節リウマチ・骨粗鬆症患者の疫学、病態解明と治療法開発に関する研究
H14	吉田 勝美	聖マリアンナ医科大学予防医学教室	教授	関節リウマチの疫学、患者の受療動態に関する研究
H14	當間 重人	独立行政法人国立病院機構相模原病院臨床研究センター	部長	関節リウマチにおける内科的治療の検証に関する研究
H14	西岡 久寿樹	聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター	センター長	関節リウマチの先端的治療に関する研究
H14	守屋 秀繁	千葉大学大学院医学研究科	教授	変形性膝関節症の生活機能維持・再建に関する研究
H14	米延 策雄	独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター	副院長	関節リウマチの頸椎・上肢機能再建に関する研究
H14	田中 良哉	産業医科大学医学部	教授	免疫難病のシグナル異常と病態解明・治療応用に関する研究
H14	三森 経世	京都大学大学院医学研究科	教授	全身性自己免疫疾患における難治性病態の診断と治療法に関する研究
H14	橋本 博史	順天堂大学医学部	教授	免疫疾患の合併症とその治療法に関する研究
H14	山本 一彦	東京大学大学院医学系研究科	教授	免疫疾患に対する免疫抑制療法等先端的な新規治療法に関する研究

	13'	14'	15'	16'	計
1	1	1	1	2	5
2	1	1	0	0	2
3	1	1	1	0	3
4	0	0	0	0	0
5	1	0	1	0	2
6	1	1	1	1	4
7	1	1	1	1	4
8	1	1	3	3	8
9	1	1	1	1	4
10	1	1	0	0	2
11	1	1	0	0	2
12	2	1	3	1	7
13	3	1	2	1	7
14	2	2	1	1	6
15	0	0	0	0	0
16	0	0	0	0	0
17	1	0	0	0	1
18	1	0	0	1	2
19	2	0	0	1	3
20	1	1	1	1	4
21	0	0	0	0	0
22	1	1	2	3	7
23	2	1	1	0	4
24	0	1	1	1	3
25	1	1	1	0	3
26	1	1	3	2	7
27	1	1	1	1	4
28	0	1	1	0	2
29	1	1	1	1	4
30	1	0	0	0	1
31	1	1	1	0	2
32	1	1	1	1	4
33	0	0	0	0	0
34	1	1	2	1	5
35	1	1	1	1	4
36	1	1	0	0	2
37	1	0	1	1	3
38	1	1	0	0	2
39	1	1	1	1	3
40	1	1	1	1	4
41	0	0	0	0	0
42	0	0	0	0	0
43	1	0	0	0	1
44	1	0	0	0	1
45	1	1	3	0	5
46	1	1	1	0	3
47	0	0	1	0	1
累計(都道府県)	43	32	38	28	141

	14'	15'	16'	計
48	1	3	1	5
49	0	0	0	0
50	1	3	0	4
51	1	0	1	2
52	0	0	2	2
53	1	3	3	7
54	1	0	0	1
55	0	0	0	0
56	1	0	0	1
57	0	0	2	2
58	0	0	0	0
59	1	0	1	2
60	0	0	0	0
累計(指定都市)	7	9	10	26
61	1	1	1	3
62	0	0	1	1
63	0	0	0	0
64	0	0	1	1
65	0	0	0	0
66	-	1	1	2
67	-	2	0	2
68	0	0	1	1
69	1	1	1	3
70	0	0	0	0
71	0	0	0	0
72	0	0	0	0
73	0	0	1	1
74	0	1	1	2
75	1	2	0	3
76	1	0	1	2
77	0	0	0	0
78	-	0	0	0
79	0	1	0	1
80	-	0	0	0
81	0	0	0	0
82	0	0	1	1
83	0	0	1	1
84	0	0	0	0
85	1	1	1	3
86	0	0	0	0
87	0	0	0	0
88	0	0	0	0
89	0	0	0	0
90	0	0	0	0
91	0	0	0	0
92	1	1	2	4
93	0	0	0	0
94	1	0	0	1
95	0	1	1	2
累計(中核市)	7	12	15	34

	14'	15'	16'	計
96	0	0	0	0
97	1	0	0	1
98	0	0	0	0
99	0	0	0	0
100	0	0	0	0
101	0	0	0	0
102	0	0	0	0
103	0	0	0	0
104	0	0	0	0
累計(政令市)	1	0	0	1
105	0	0	0	0
106	1	1	0	2
107	0	0	0	0
108	0	0	0	0
109	0	0	1	1
110	0	0	0	0
111	0	1	0	1
112	0	0	0	0
113	0	1	0	1
114	0	0	0	0
115	0	2	0	2
116	2	2	0	4
117	0	0	1	1
118	0	0	0	0
119	1	2	1	4
120	1	0	0	1
121	0	0	0	0
122	0	0	0	0
123	0	1	1	2
124	0	0	1	1
125	0	0	0	0
126	0	0	0	0
127	1	0	0	1
累計(特別区)	6	10	5	21

	13'	14'	15'	16'	計
都道府県	43	32	38	28	141
指定都市	-	7	9	10	26
中核市	-	7	12	15	34
政令市	-	1	0	0	1
特別区	-	6	10	5	21
計	43	53	69	58	223

※ さいたま市と相模原市 … 14年度は政令市